

第 25 回グリーン購入大賞

◇募集要項◇

募集期間：2024 年 5 月 22 日（水）～7 月 31 日（水）

グリーン購入ネットワーク（GPN）は、持続可能な調達（消費と生産）を通じて、脱炭素・SDGs・サーキュラーエコノミーの実現に寄与する取り組み事例を表彰します。

<はじめに>

グリーン購入ネットワーク（GPN）は、「持続可能な調達（消費と生産）の推進を通じて、脱炭素、SDGs、サーキュラーエコノミーの実現に貢献」を活動方針として掲げています。

2050 年の脱炭素社会の構築に向けては、生産段階や製品使用時の省エネだけではなく、購入・調達という手段を用い、省エネ機器の導入や再生可能エネルギーによる電力（再エネ電力）の切り替え、廃棄物の発生抑制や資源循環が不可欠だと言えます。さらに、SDGs 推進の観点からは、プラスチック問題や食品ロス、そして、サプライチェーン上における人に関わる社会課題（遵法性や労働者の権利等）に配慮した調達の実践が求められます。

グリーン購入大賞は、持続可能な調達（消費と生産）を通じた、SDGs（持続可能な開発目標）の目標達成、とりわけ、脱炭素社会の実現やサーキュラーエコノミーの実現に寄与する取り組みを募集致します。気候変動対策、再生可能エネルギーの普及促進や、食品ロス・フードロスの削減につながる取り組み、グリーンボンドの発行、フェアトレード、持続可能な調達方針の運用（サプライヤーへの周知・研修等）、様々なステークホルダーと協働・連携し、グリーン製品等の普及展開に取り組んだ事例、持続可能な調達・グリーン購入の実践に向けた啓発活動など、ご応募をお待ちしております。

「農林水産特別部門」では、持続可能な農林水産業の実現に向けた取り組みを募集し、表彰いたします。

皆様の積極的なご応募をお待ちしております。

<賞の種類>

環境大臣賞	自らのグリーン購入活動、もしくは環境教育や環境コミュニケーション等を通じた一般消費者等へのグリーン購入の普及活動が特に優れた 1 団体
経済産業大臣賞	環境配慮製品・サービスを通じて、グリーン購入の市場を拡大する活動が特に優れた 1 団体
農林水産大臣賞	国内農林水産業の発展に資するグリーン購入活動、もしくは一般消費者等へのグリーン購入の普及活動が特に優れた 1 団体
大 賞	グリーン市場の拡大や SDGs の目標達成に貢献した活動が特に優れた団体 (部門別に 2 団体、計 8 団体程度)
優 秀 賞	グリーン市場の拡大や SDGs の目標達成に貢献した活動が優れた団体 (部門別に 1 団体、計 4 団体程度)

※各大臣賞は大賞受賞団体より選出されます

<応募部門>

大企業部門、中小企業部門、行政・民間団体部門、農林水産特別部門

<応募テーマ>

以下の応募テーマに該当する取り組みを募集します。

NO.	応募テーマ
1	購入活動を通じた取り組み
2	コミュニケーション・人材育成を通じた取り組み
3	製品・サービスの生産活動（製造・販売）を通じた取り組み

<審査方法と審査基準>

・審査（書類審査）

応募事例の「①成果・効果、②先進性・独自性、③継続性・発展性」を評価します。応募用紙の情報に基づく評価が難しい場合、応募事例の情報を補足するために、応募者へヒアリングをする場合もあります。書類審査によって、優秀な応募事例を計 12 件程度、選出します。

・本審査（プレゼンテーション選考）

書類審査を通過した応募者は、本審査委員にプレゼンテーションを行っていただきます。

プレゼンテーションと質疑応答を通じて、「①成果・効果、②先進性・独自性、③継続性・発展性」を評価し、グリーン市場の拡大に貢献した取り組み、SDGs の目標 12 番目を通じた取り組みの優秀な事例として各賞を選出します。

※重要※

審査は、“大企業”、“中小企業”、“行政・民間団体”、“農林水産”の部門ごとに行います。

<応募資格>

- 応募テーマに該当する活動に取り組む団体。[企業、行政、民間団体等]
- 自薦・他薦は問いません。（他薦の場合は、応募対象団体等に了承をとった上でご応募下さい。）
- 複数社・団体等セクターを超えた連携プロジェクトの場合は、代表団体をご応募下さい。
- 応募時点において、日本国内及び当該地域の労働関係法令に関して重大な違反がなく、かつ、その他の法令上又は社会通念上、表彰にふさわしくないと判断される問題がないこと。

<応募方法>

応募用紙に必要事項をご記入の上、GPN事務局宛に郵送もしくはメールでお送り下さい。

※応募用紙は、GPNのホームページ（<https://www.gpn.jp/>）からダウンロードできます。

※応募内容の記述欄が不足する場合は、最大で A4 版 2 ページ分の用紙の追加は可能です（応募用紙全体で 4 ページ迄）。

<その他>

- 応募内容に関して、記載に虚偽が明らかになった場合には、応募は無効となります。
- その他主催者が不適切と判断するもの

<表彰までのスケジュール>

- 【応募期間】 5月22日（水）～7月31日（水）
- 【1次審査】 8月下旬 *書類審査
- 【本審査会】 10月1日（火） 東京都内 午後開催
- 【表彰式】 12月中旬頃 東京都内



受賞団体はグリーン購入大賞のロゴマークをご使用頂けます

受賞結果はニュースレター、ホームページ、マスコミ等を通じて、広く公表致します。第24回グリーン購入大賞では、紙面・web合わせて100件以上、メディアに掲載いただきました。

参考：第24回グリーン購入大賞 表彰式



<本審査委員長>

梅田 靖氏 東京大学大学院 工学系研究科 人工物工学研究センター 教授、グリーン購入ネットワーク(GPN)会長

<本審査委員>

伊坪 徳宏氏 早稲田大学 創造理工学部環境資源工学科 教授、GPN 代表理事

奥 真美氏 東京都立大学 都市環境学部 都市政策科学科 教授、GPN アドバイザー

石川 雅紀氏 叡啓大学 特任教授、神戸大学 名誉教授、GPN アドバイザー

近藤 康之氏 早稲田大学 政治経済学術院 政治経済学部 教授

栗栖 聖氏 東京大学 大学院工学系研究科 都市工学専攻 准教授、GPN アドバイザー

平尾 禎秀氏 環境省 大臣官房環境経済課長

大貫 繁樹氏 経済産業省 産業技術環境局環境政策課長

続橋 亮氏 農林水産省 大臣官房みどりの食料システム戦略グループ地球環境対策室長

長谷川 雅巳氏 日本経済団体連合会 環境エネルギー本部 部長

竹ヶ原 啓介氏 株式会社日本政策投資銀行 設備投資研究所 所長

崎長 敬志氏 読売新聞東京本社 編集局生活部 次長

江口 一氏 毎日新聞社 くらし科学環境部 部長

田中 太郎氏 日経 BP 日経 ESG 経営フォーラム事業部 シニアプロデューサー

<グリーン購入大賞とは>

グリーン購入大賞は、環境に配慮した製品やサービスを環境負荷低減に努める事業者から優先的に購入する「グリーン購入」の普及・拡大に取り組む団体を表彰する制度として、1998年に創設しました。

第19回（2018年度）より、SDGs（持続可能な開発目標）の目標の1つに位置付けられた目標12「持続可能な消費と生産のパターンを確保する」を踏まえ、グリーン購入から持続可能な調達（消費と生産）に審査、表彰する領域を広げ、持続可能な調達（消費と生産）を通じて、グリーン市場の拡大やSDGsの目標達成に寄与する取り組みを表彰してきました。



第25回グリーン購入大賞

<主 催> グリーン購入ネットワーク（GPN）

<後 援> 環境省、経済産業省、農林水産省、消費者庁、日本経済団体連合会、読売新聞社、毎日新聞社、日刊工業新聞社、日経 BP、東洋経済新報社、株式会社共同通信社、環境新聞社、Sustainable Brands Japan(SB-J)

<お問い合わせ>

グリーン購入ネットワーク（GPN）事務局 （担当：竹内、深津）

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-5 TMM ビル5階

TEL. 03-5829-6912 FAX. 03-5829-6918 E-mail : gpn@gpn.jp